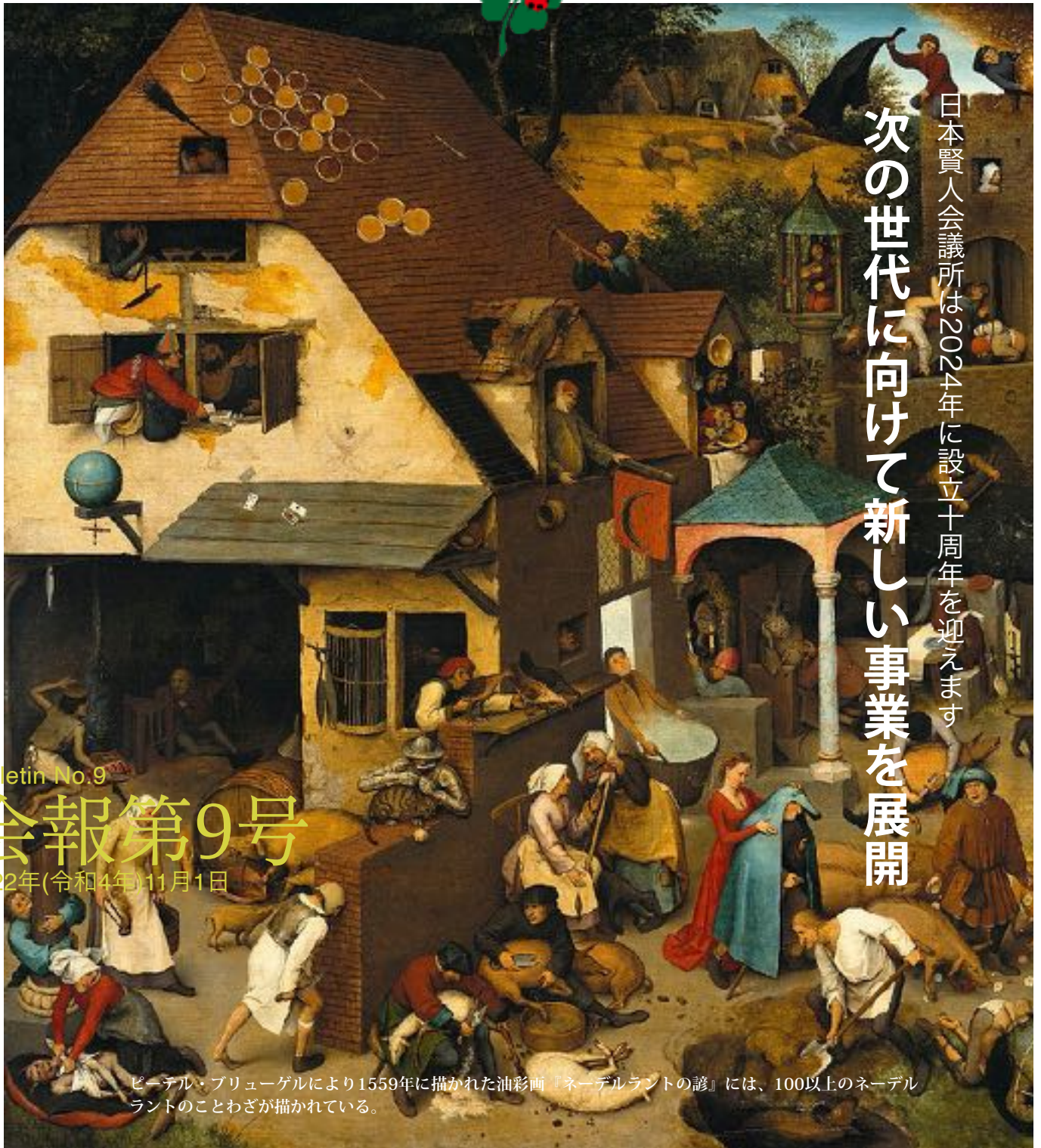




日本賢人会議所



日本賢人会議所は2024年に設立十周年を迎えます
次の世代に向けて新しい事業を展開

Bulletin No.9

会報第9号

2022年(令和4年)11月1日

ピーテル・ブリューゲルにより1559年に描かれた油彩画『ネーデルラントの諺』には、100以上のネーデルラントのことわざが描かれている。

巻頭言

水をかけるとなぜ火は消えるの？

顧問 松田良一

はじめに

このたび日本賢人会議所の顧問を拝命致しました松田良一と申します。現在、東京理科大学で教授をしております。専門は生物学と科学教育です。2018年から4年間、国際生物学オリンピックの議長をしておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

学力とは

私が以前務めていた東京大学教養学部には国際数学オリンピックのメダリストや自国の高校を15歳で卒業し、数学を専攻すべく理科一類（3年次に主に理工系に進学する学生枠）に入学してきた留学生が何人もいました。数学好きな彼らですが、その多くが教養学部での数学や物理学の試験成績は決して高くありませんでした。彼らに理由を聞くと、「東大の試験は問題数が多く、時間が短すぎる。もっと時間があればできる」と言いました。彼らにすると東大生は数学を考えるというより、解法をパターン化して覚えている、試験時間中にそれを一気に吐き出す能力に優れているのだそうです。子供のころから受験勉強でのし上がってきた「わがりの良い子」たちですから、それも当然でしょう。逆に先生や教科書の説明を簡単に承服できない生徒たちは、日本では勉強に向いていない子・学力が低い子として扱われてしまい、親たちもそう思うのでしょうか。いつの間にか学校や学問の入口から遠ざかってしまいます。

エジソンの秘密

19世紀のアメリカで、「水をかけるとなぜ火は消えるの？」「魚はなぜおぼれないの？」「二つのコップに入れた水を別のコップに入れると水は一つになる。1足す1は1ではないか？」といった疑問を先生にぶつけ先生を困らせる少年がいました。当時の学校では生徒に教科書の丸暗記を強制しました。その少年はそれに従わなかったため、「頭の腐った子」という烙印を押されてしまいました。それに反発した元小学校教師の母親による独自の教育に救われたのが、のちの発明王トーマス・エジソンでした（「天才エジソンの秘密」－母が教えた7つのルール ヘンリー・幸田著 講談社2006年）。私にはこのエジソンの逸話と先に述べた留学生たちの言葉が重なっていると思えます。

これからの日本に期待するのは

今の日本は「わがりの良い子のなれの果て」が中枢を占め、彼らによる「忖度」に満ちた社会です。3.11以降、想定外の問題に対する東電や原子力保安院などのエリートたちの様子を見ると特にそう思います。解法が分かっていない問題に取り組み、時間をかけても何とか答えをひねり出すタフな人材を子供のころから選択的に排除してきた教育法のツケが回ってきたのかもしれない



ん。ガチンコで問題に取り組む「わがりの悪い子」の中に想定外の問題にあふれた21世紀の日本や世界をリードする人材がいる（いた）のではないかと思うのは私だけではないでしょう。



IBO2017 practical : 国際生物学オリンピック2017イギリス大会における実験試験会場の様子

会長から 武道のこころ

会長 橋本久美子

早いもので、今年も残すところ2ヶ月となりますが、引き続き当会の会長を務めさせて頂くこととなりました。皆様の変わらぬご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

お隣の国で始まったコロナ禍は、私たちの思いを超えて長引いています。また、その北のロシアによるウクライナ侵攻もなかなか終わりが見通せず、双方の犠牲者が増えていることは誠に心痛む限りです。

私は日本介助犬協会や国際なぎなた連盟などにも関わっています。なぎなた連盟は国際といっても細々とした組織で、日本や加盟国の愛好家たちの熱意や献身に支えられて活動を続けています。また、コロナ禍の制約はありますが、定期的に杉並区の体育館でお稽古をしながら、心身がリフレッシュされる有り難さを感じています。そのようなご縁で2014年の日露武道交流年を通じて、ロシアの武道家の方々と交わる機会がありました。相手を敬い礼を持って接することが、国境を越えた武道のこ

ころであると感じたのは私ばかりではありませんでした。

パンデミックや戦争に際して、人々がより多くの情報を正しく得て、相手を敬って協力し合えることが、世界に求められていると感じる今日この頃でございます。

最後に皆様のご健康とご安全を心よりお祈り申し上げます。



2018年サンパウロの国際なぎなたセミナーにて

理事長から 創発の機会を / 事業企画推進委員会

理事長 小早川明徳

日本賢人会議所の「事業企画推進委員会」の委員長を兼任していますが、この事業企画推進委員会からは、社会的発信と会員の身近な生活的発信があると思います。

社会的には、いわゆる、外交、防衛、領土、教育、多子化など国家的課題への対応、生活的には、健康、生きがい、家族問題、趣味などの長寿時代の取り組み方など、を各委員会、各プロジェクトと連携して、研鑽し、提案し、社会へ創造的な発信ができれば幸いだと考えています。

まさに「賢人会議」の“場”を作って、組織内外に広く“創発の機会”を作ります。一と、よびかけていきたいと思います。



未病プロジェクト

プロジェクト・リーダー/副会長 福生吉裕



日本賢人会議所では4年前（2018年）に第一次未病タスク委員会を立ち上げ、8名の委員でもって未病についてセミナーを持ち会議をいたしてまいりました。その果実はHPにPDFとして集約されております。

2022年、より少子高齢社会が進み、医療費も44兆円を
超え右肩上がり止まりません。病気の
前の状態である未病を第三の心身状態として捉え（現代未病）、改善に向かわしめる工夫は自分の身体のためだけでなく、医療費の適正化にも繋がります。次世代への贈り物にもなります（未病プロジェクト）。

第二次 未病タスク委員会発足について

4年間という充電期間をへて、日本未病学会も29回を迎え、未病サポーター養成講座も作られ、未病は社会でより存在感を増してきております。このタイミングに合わせ、第二次未病タスク委員会は、前回の宿題も収め、社会に行政によりアピールをするため発足されました。

未病はまだ未開の荒野

未病はすそ野が広く、医学ばかりでなく、栄養、検査、看護、薬学、運動そして経済、教育の分野も入ってきます。今こそ日本の厚生、教育行政に一石を投じるべく、日本賢人会議所の多くの方々に委員としてご参加していただきたくここにお願いいたします。



縄文文化/古事記プロジェクト

プロジェクト・リーダー/副理事長 瀬尾純一郎

この度、副理事長に選任して頂きました瀬尾です。以下、簡単に自己紹介させていただきます。仕事面では地銀に非常勤で勤務しておりますほか、青森の農家のお手伝いをしています。これらの活動を通じて痛感しますのは、わが国経済、特に地方経済の活性化は中々大変だということです。

プロジェクトに関しては、縄文文化・古事記プロジェクトを担当させて頂くことになりました。この分野では、昨年、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されるなど、最近になって新たな発見や認識がなされるようになってきています。そこで、日本の原点とも言うべき縄文文化・古事記の時代を改めて見つけ直したいと思います。これらの点について、当会には様々な知識と知見をお持ちの方がおられると思いますので、メンバーの方々のご意見を伺いながら、プロジェクトを運営していきたいと考えています。

趣味は主に登山とテニスです。今年の夏、本宮浅間大社から村山古道経由で初めて奥宮のある富士山山頂に登頂しました。何とか登頂しましたが、最近は気力、体力の衰えを実感しています。



働き方改革プロジェクト

プロジェクト・リーダー/副理事長 大石正昭

この度、副理事長を拝命いたしました大石でございます。私は金融機関で約30年勤務した後、福岡にて百貨店の再建に携わり、13年前よりアパレルの会社に勤務し会社統合や多くのM&A等を経験しました。この間福岡で出会った小早川さんとの縁で当会議所の理事をさせていただいております。

今般「働き方改革」プロジェクトのリーダーを仰せつかりましたが、プロジェクトの展望について私の考え方を申し述べます。働き方改革については以前から議論されてきており、その課題や問題点に関しては広く認識されておりますが、「本来あるべき働き方改革」について原点に立ち返り議論したいと思っております。

今までの議論では働き方改革とは労働生産性の向上のために労働環境をいかに整備するかと言うことが中心で、その手段として働く時間の短縮化、働く場所の選択肢拡大、働く手段の多様化等により、女性や高齢者の就業機会の拡大を目指しています。

今回のプロジェクトではこれらに加えて次の二つの論点も加えたいと思っております。第一はそもそも良い働き方とはどうゆうことなのか。日本において昔から伝わる労働観、仕事に関する考え方の本質についても改めて考察したいと思っております。第二は仕事そのものの改革についてです。労働生産性向上のためには仕事の手順・進め方等に関し、全ての職種・業務において改革・改善が必須ですが、その進め方について議論したいと思っております。

以上の事柄についてプロジェクトで充分議論し、内容について都度会報等で皆様と共有し、最終的には社会に対して提言と言う形で発信できるよう仕上げたいと思っております。



多子化プロジェクト

プロジェクト・リーダー/理事・佐伯浩明

日本賢人会議所の多子化プロジェクト研究会が、急激な日本社会の少子化傾向に危機感を抱き、二年余りかけて取りまとめた「多子化健全社会構築に向けての提言」を、少子化対策特命担当の加藤勝信一億総活躍担当大臣にお渡ししたのは2016年12月。



あれから6年の歳月が経ちましたが、「少子化」は止まるか、さらに勢いを増しており「日本本衰亡の兆し」が至る所に表れています。

会の衆知を集めて、「多子化社会の創出を可能にする」提言を目指して再チャレンジします。広く皆様のご参加をお待ち致しております。



脱北帰国者と韓国のNGOの方々とを囲んでの北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会の花見

日本人は、きものと共に人生の節目や記念を祝い成長し、四季折々の伝統行事を行うことで、幅広い絆を築いてきました。

特集

きもの文化の継承をめざして

理事 郡成憲

日本の伝統文化である「きもの」は、長い歴史の中で、先人達の努力と工夫により時代に合わせて進化し、今日まで引き継がれて参りました。

もともと長く着用することを前提に、平面裁断によりつくられるきものは、染替えや仕立替えが可能で、代々受け継ぐことのできる、まさにサステナブルな衣服です。質の良いものを大切にいたわりながら、代々の美的感覚を取り入れて利用していく、日本の文化そのものがあります。

きものは着ることで、相手を想い、感謝やお祝いの気持ち、礼を尽くす心を表します。世界の中でも日本の伝統衣装「きもの」への憧れは圧倒的で類を見ません。

「着てくれてありがとう」と言っていただけける唯一の衣裳とも言えるのではないのでしょうか。

そして、きもの色や模様には、古くから、自然界にあるものを衣服に表し身にまとうことによって、その靈気の恩恵を受けようという姿勢がみられます。そしてその表現方法は、染め、織り、絞り、刺繍など、日本独自に発展し、世界に誇る伝統技術となっています。



七五三

日本賢人会議所



色打掛



模様描き、地色染め、家紋など、全て別の場所、別の人が分業で行っています



地染め職人

模様職人

この日本の精神が込められた和装文化は、若い世代に継承し、国内での発展はもちろんのこと、より多くの日本人が世界に向けて堂々と紹介・発信できるようになるべきことと考えます。

しかし、一方では、日本が誇るきもの文化を支えてこられた全国の産地の高度な技術を有する職人さんが、現在皆、揃って高齢になられ、後継者は大幅に減少しています。

実際に私が長きにわたり直接やりとりをしてまいりました職人さんたちは、ほぼ後継者ゼロの状態です。産地では後継者育成の場もありますが、将来の仕事として多くの若者が集うような状況ではありません。

現役の職人さんが本当にいなくなってしまう前にと、私たちは数年前から、この伝統技術を次世代の人に伝える取り組みを考えて参りました。

それは、現役の職人さんから、若い世代の人々が本格的な技術指導を受けられる学び舎をつくることです。

。

そして、従来、分業化されてきたきもの制作の各工程を完全に着せくり



伝承あり

家紋

日本賢人会議所

時代とともに、継承のかたちは変わるかもしれませんが。しかし、若い世代の皆さんは、長きにわたりものづくりをしてこられた職人から学んだ貴重な技術を、様々なかたちで発展させていくと思うのです。そして、きものを着る方たちの注目や応援により、益々技術も向上していくものと考えます。

このようなプロジェクトは、私たちだけの力では実現できません。日本文化を愛する多くの皆様のご賛同、ご協力をいただきながら、実現に向けて進んでまいりたいと考えております。

どうぞ皆様、応援くださいますようお願い申し上げます。



何度も会合を重ねてきました

地球環境プロジェクト

プロジェクト・リーダー/副会長 森本英香



脱炭素化を通じた新しい成長へ

現在、150カ国以上が、2050年CNを表明しています。日本も2020年10月に宣言しました。温室効果ガスの排出量を2030年までに2013年比で46%削減、その20年後の2050年には実質ゼロ。これが、日本の目標です。

では、どのように進めるか。現在の国の取り組みには2つの柱があります。

産業構造を変革し大きく成長させるイノベーション技術に着目したグリーン成長戦略。これが一つ目です。水素、半導体・情報通信、食料・農林水産など、選定された14の分野の技術開発を重点的に進めます。

二つ目は、分散型・自律型の社会づくりを目指す地域脱炭素ロードマップです。日本の自然・文化を生かした地域循環共生圏の創造を進めることです。2030年までにモデル地域を先行的に作り、ロールモデルにして全国に横展開し、日本全国での実現を目指すものです。

イノベーションを通じた新技術の実用化と自律分散型の地域づくりを融合して日本の新しい成長につなげるものとなりましょう。

去の経験・先行諸国の事例に学びながら、強力で脱炭素化を進めることが次のアクションとなりましょう。



南の島プロジェクト

プロジェクト・リーダー/副会長 栗山昌子

南太平洋の国々は、歴史的にも地理的にも日本との関係が深く、より緊密に親しくつき合っていくことが大切です。1964年の東京オリンピックで、私たちに国際社会との関係や人種・言語を超えて誰もが平和に共に歩む世界があることを、体験をとおして教えられました。今回は、この地域の子供たちと国を超えての国際社会のありかたを、分かち合いたいと考えて参りました。

様々なチャリティーイベントをとおして、内外の不特定多数の友人方がご寄付くださり、東京2020五輪組織委員会や外務省からも支援をいただいたものの、東京2020は無観客開催となり、残念ながらプロジェクトの実現には至りませんでした。

引き続き、皆様が寄せて下さった心を忘れずに、太平洋島嶼国の未来を担う次世代との新たな交流の可能性を模索していくつもりです。小さな交流、または「大阪万博2025」など国際的事業の中など、今後の実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。いただいたご芳志は200万円ほどになります。皆さまから、前向きのご意見をいただければ嬉しいです。



第18回理事会（令和4年5月9日月曜）

「令和3年度事業報告及び令和3年度決算報告書の承認」及び「理事および監事の選任」ならびに「顧問の選任」

第8回定時総会（令和4年6月17日金曜）

「令和3年度事業報告」及び「令和3年度決算報告書の承認」ならびに「理事および監事の選任」

第19回理事会（令和4年9月7日水曜）

「令和4年～令和6年期の会長、理事長等の互選」及び「新規入会者の承認」

広報・渉外委員会

委員長/理事 渡辺仁史

のホームページのあり方やFacebookでの発信も、もっと若い世代に会議所の存在を広報するためには、Instagramへの移行、さらには動画配信も含めて、新たな仕組みと環境を整備できたらと思っています。

2014年に日本賢人会議所の会報「準備号」を3回発刊してから、今回の第9号で、ちょうど12報目になります。この会報が会員への情報伝達というだけでなく、広く世界中のスマートシニアの方々に届くといいなという思いを持って編集しているのですが、まだまだ旧態依然とした紙面づくりのために、広報誌としての役割にはまだまだ達していません。

渉外については直接タッチしていませんが、「広報」に対する私の考えは、時代とともにその媒体や表現方法は変わっても良い、つまりインターネットの時代に対応した広報のあり方を、委員会でもっと議論しても良いのではないかと思います。

いきなり極端かもしれませんが、今やメタバース、つまり仮想空間での情報のやり取りやコミュニティ、さらには経済までもがメタバースなしには展開できないような時代に入ろうとしています。

2024年の設立10周年記念までには、日本賢人会議所



コンプライアンス委員会

委員長（予定）/理事 永山俊男

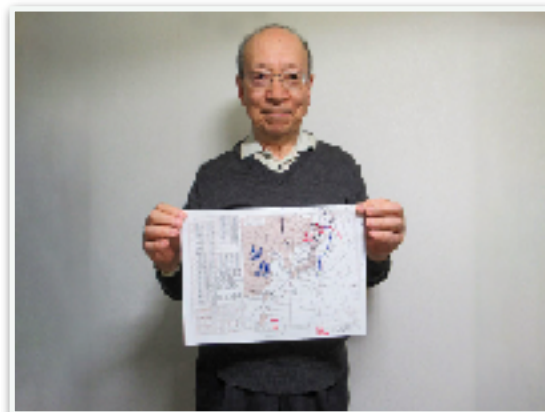
人会議所がより素晴らしい活動を進められるよう努力をして参りたいと存じます。

コンプライアンスと言う言葉が広く使われるようになったのは、いつ頃からでしょうか？

アメリカで1970年代に企業の不祥事防止の為、コンプライアンスと言う概念が生まれたとされています。その後2001~02年に起きた『エンロン事件』や『ワールドコム事件』により、企業の内部統制の統合的枠組みを導入した『米国企業改革法』が、2002年に制定されました。企業の不祥事を放置すると、大企業であっても社会的に指弾され、対応を誤るとその存立すら危うくなる事から、その防止と早期解決の為コンプライアンスと言う考えが成長してきました。

日本でも、当初は『ムラ社会の掟』や『終身雇用・社員大家族主義』等が、経営の根幹とされ、法令等による規制の必要もないとされてきました。しかし、日本の企業活動も世界に拡大し、様々な人種・宗教・価値観を有する人々との協業が不可欠となった現在、コンプライアンスは、企業経営の根幹とされています。

一方、当日本賢人会議所は、企業ではありません。あくまでも、各個人が自由意思で参加している一般社団法人です。私は、コンプライアンス委員長をお受けするにあたり、『お金』と『ハラスメント』に留意したいと申し上げました。これらの点で疑念をお持ちの方は、何なりとご相談ください。皆様のお力をお借りして、日本賢



天気図を描くことが趣味の一つです

文化教育委員会

委員長/副会長 宮下研一

「振り返れば未来」。我が畢生の師である木村尚三郎が常々口にしておられた言葉です。先生が亡くなられた今も、私はいつも時に応じてこの言葉を憶い出します。

文化・教育分科会は何をすればいいのか？文化・教育という文言はそれ自体が響きも字面も硬い。文化とはこれまでの我らが先達の遺した人間らしい血の通った創造物の集積であります。

教育もまた知識と共に文化を子どもたちに教えて未来につなげて行く人間の営み。社会にとっても個人にとっても、血の通った、ある意味最も大事な分野なのに「文化・教育」と書くと冷たく感じられ、身近なものでありながらその実、具体的にこれだとイメージできないように感じられます。何だかむつかしい。

しかしいつも魔法のように現れて来るのが、冒頭の「振り返れば未来」という言葉なのです。迷ったら、悩んだら、どうしていいかわからなくなったら、振り返ってみる。私はいつもそうやって師の教えに従って来ました。

過去に何も持たない者に未来を創ることは不可能です。しかし、我が国には二千年以上の豊かな文化的資産、教育的資産があります。何を選んでいいかわからなくなる程ですが、皆さまと共にちょっとだけ振り返ってみたい。さすれば我々が何をすべきか、答えは自ずから湧き出て来ると思います。知識経験有り余るほどにお持ちの諸先輩の皆さまとともにゆったり広く思考し、しかし少し急ぎながら、提案して参りたいと存じます。

会員の声

理事 白須夏

人生の大先輩にご恩返しを - 地方自治の最前線で -

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が変化し、私達は備えることの大切さ、危機管理 体制の重要性を認識させられることになりました。

私は現在、中央区議会議員として、地域の皆様のお声を伺いながら日々活動しております。

中央区と言いますと、およそ縁と無縁のように思われるかもしれませんが、実際は、子供達が遊べる公園もありますし、銀座のビルの屋上では養蜂や稲作、野菜の栽培まで行われています。現在、街には賑わいが戻ってきていますが、コロナ禍で外出の機会が減った高齢者の身体機能、認知機能の低下が懸念されます。

2025年には、認知症700万人時代を迎え、65歳以上の高齢者の5人に1人に達する見込みとされており、今後、認知症に対する理解を深めていく必要性を感じます。

また、コロナ禍で入院、高齢者施設に入ってしまうと、直接触れ合っただけの面会が難しい状況が続いています。医療・介護サービスを受けながら、自宅で生活することを希望する方が多く、在宅療養でも、コロナ治療のほとんどをカバーできるとされていますので、今後、在宅療養支援を推進すべきと考えております。

私は、人生の大先輩にご恩返しを!という想いで、傾聴や一人暮らしの高齢者に手作り弁当をお届けするボランティア活動をして参りました。現在は、地方議員とし

て、この変化の激しい時代を乗り越え、前進してるいけますよう力の限りを尽くして参りたいと思います。



銀座ブロッサム屋上でお芋掘り

新会員から

この度、新たに日本賢人会議所の会員になられた5名の方々を紹介します。



新会員 太田賢次

福島県郡山市でふぐ料理専門店を営んでいる太田賢次です。自宅はさいたま市で創業から18年間毎年6万キロは走行して行き来しています。東北大震災前は飲食業が主な仕事でしたが、震災後は人生そのものの考え方を変えなくてはという強い思いから、人生のコンセプト『本気の遊びが本気の仕事』を実践すべく楽しいと思える事しかない、楽しい人としか時間を過ごさない、楽しい事なら何でもチャレンジ、で人脈づくりをしてきました。現在はバーネフードプランニング(株)代表取締役、(株)エアージャパン取締役ほかをして、ホンダのプライベートジェットの販売、運行管理事業をメインに不動産仲介、ビジネス情報のマッチングを行っています。



新会員 小川絃子

初めまして。

人間の叡智がみっちり詰まった日本文化を護りたく、夫婦で『日本文化サロン』を立ち上げました。日本語は『世界一美しい音』と言われています。日本文化-能楽道、着付け道、茶道、香道…全て、口伝です。欧米人には騒音にしか聞こえない虫の音にも、日本人は『あはれ』『侘び寂び』を感じる事ができます。医療に携わっているので、高齢化の中で認知症罹患への不安の声を耳にしますが、予防は五感を磨くことです。日本文化は五感で楽しむ事ができます。皆様とご一緒に日本の良さを伝えてゆければと思っています。

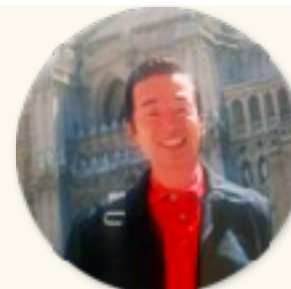


新会員 小沼広直

小沼広直さんに当会をご案内した吉田法子さんが紹介します。

彼は現代美術の画家です。

近々彼の作品が7種類の切手にもなるようです。来年はニューヨークでの個展も待っています。期待の画家です。日本賢人会議所には人生の先輩の経験等を聞き賢くなれたらと入会されました。どうぞよろしくお願い致します。



新会員 河波裕明

初めまして。河波裕明です。よろしく申し上げます。

出身は福岡、4才より東京在住。大学卒業後は証券会社に勤務。

福岡、奈良、池袋他、最後の赴任地は大阪でした。

この間、旅行とは違い、地域の人たちとの関わりは大変貴重な経験でした。

また、証券時代にお会いしたすべての方達より、沢山の勉強をさせて頂くことができました。

これからも新たな人との出会いを大切にしていこうと思っています。



新会員 工藤智子

初めまして

この度、吉田法子様よりご紹介いただき入会させていただきました。株式会社ブラジュニティスカイ代表の工藤智子と申します。素敵な皆様にお仲間に入れていただきとても光栄に存じます。

弊社は、作り手の想いが詰まったこだわりの商品をお客様に繋がるお手伝いをしております。作り手も使い手もそしてお客様も皆で元気になればと願っております。趣味は40年間続けております剣道です。現在六段挑戦しております。元気が取り柄の私ですが皆様どうぞ末永く宜しくお願い申し上げます。

事務局より —新体制となった事務局のスタッフを紹介—

事務局長 小林正博

引き続き事務局長を務める小林です。事務局には常勤スタッフがおらず、行き届かぬことも多々あると存じますが、ご意見ご要望はお気軽にお寄せください。出来ることは、やります。そして、新しい事務局は出来ることを少しずつ増やしてまいります。

社会的に意義のある活動も会として大切ですが、会員同士が楽しんで交流できる活動も進めたいですね。皆様のアイデアをお寄せください。

理事 永山俊男

昭和26年（1951年）千葉県市川市生まれ、東京世田谷区育ちの、永山俊男です。バリバリの昭和世代です。趣味は、読書・旅行・ゴルフ・家庭菜園・天気図作成です。

ご家族での慶事、お子さんの結婚、お孫さんの誕生、ホールインワン達成等々ございましたら、その日の天気図をお描き致します。

チームワークを大切に、事務局長を支えて参ります。

理事 吉田法子

福岡県出身の吉田法子です。東京在住の方が長いですが、なまりが抜けません。

宝石業を生業にしております。真珠が特に得意で糸替え等は目の前で組み替えます。趣味は料理とクレー射撃です。猟期になりましたらハンターにもなります。

南方出身と言うこともあり根っから明るい性格で年々おおざっぱになって来ている感がありますが、事務局のお手伝いは楽しみながら皆様のお役にたてればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

会員 因泥友子

珍しい名前の因泥です。インデイと読みます。全国に180人ほどしかいない苗字で、

主に茨城県と東京都にみられる様です。名は体を表すといいますが、ご先祖様は泥に因む仕事、つまり農家か陶芸家だったのか想像を巡らせながら、因泥家のルーツが見つかるかもしれない茨城県古河市を散策してみたいと思っています。事務局では主に会計を担当しております。皆様どうぞ宜しくお願い致します。

会員 晝間佐千子

私はごく普通の主婦をしています。その昔は子育てや家事に追われる毎日でしたが、今は地元自治会のお祭りや盆踊りなどを通じて、地域のつながりや絆を育む時間を大切にしています。

日本賢人会議所は、自分の周りには居ない様々な経験を持つ人との出会いの場でもあり、いろいろな気づきを頂いています。コロナ禍の中ですが、心と体の健康のためにもできるだけお出かけください。お待ちしております。

理事 郡成憲

今号の特集として、中央ページに私の取り組みについてスペースを頂きましたので、ご覧いただければ幸いです。



日本賢人会議所憲章

私たちは、目前に迫る超高齢社会においてシニア世代の健全な自立を促し、これに賛同する仲間たちの社会参画を進め未来の世代のためにも持続的で健康な国と社会の実現に貢献するとともに自らの生活の質的向上を図ることを目標とします。

そのために、次の7つの目標を掲げ、より賢く生きていく努力をします。

努力目標

- 1.出来ることは自分でします
- 2.人の役に立つことをします
- 3.健康で過ごせるよう努めます
- 4.聴く耳を持ち社会より学びます
- 5.人の温かさを大事にします
- 6.輝く笑顔で謙虚に生きます
- 7.感謝の気持ちを声に出します



左から永山俊男、因泥友子、吉田法子、晝間佐千子、郡成憲、小林正博